

令和6年度全国高校総体男女バレーボール競技茨城県予選会

競技運営上の確認事項

大会競技委員長

1. 役員集合時間およびネットの設営について

役員集合時間に全体ミーティングを行う。ミーティング終了後、各コートを担当する競技委員、審判員が連携し、それぞれのコートのネットを設営する。

練習開始時間までに、ネットの設営を完了する。

日程	役員集合(全体 MTG)	選手入館	練習開始(設営完了)
6/14(金)	8:00	8:30	9:00
6/15(土)	8:00	8:30	9:00
6/16(日)	8:00	8:30	8:45

2. 試合間の練習及び試合開始時間について

(1)6/14(金), 6/15(土)

第1試合のチームは9:00からコートを使用できる。ボール使用の制限はない。

前の試合終了後は、コートチェック(競技)、ネットチェック(審判)の完了まで、エンドゾーンでボールを使用しないウォーミングアップができる。各チェックの完了後にコートを使用できる。ボールの使用は試合設定時間21分前からとする。

各チェック完了から21分後の時間が試合設定時間を超える場合は追い込み方式とする。追い込み方式の場合は、各チェックの完了から10分後プロトコールとする。

連続試合(最終試合)は前の試合の終了時間から20分後にプロトコールとする。試合間の練習においてボール使用の制限はない。

(2)6/16(日)

8:45~9:15 指定されたコートでボールを使用した練習ができる。

Aコート : A1 出場チーム	Bコート : C2 出場チーム
Cコート : C1 出場チーム	Dコート : A2 出場チーム

9:15 A, Cコートチェック (各チェックの完了後から練習を再開してよい)
B, Dコート撤収

※撤収後のDコート(サブアリーナ)はフリーの練習会場となり、ボール使用の制限はない。

9:19 第1試合プロトコール

第2試合以降は前の試合が終了し、コートチェック、ネットチェックの完了後からボールの使用ができる。

第2試合は第1試合の終了時間から15分後プロトコールとする。その際、コートオフィシャルにあたった選手の準備に配慮して、プロトコール時間を決定する。

決勝戦は第2試合の終了時間から49分後プロトコール(60分後試合開始)とする。

3. コンポジションシートの記載について

リベロプレーヤー欄は記載せずに提出する。リベロプレーヤー欄の記載は、監督がスコアシートにサインをする際に行う。監督は番号のみを記載し、スコアラーは選手名を上段から転記する。

4. 感染症による出席停止に伴うエントリーの特例措置について

標記の理由により選手のエントリーが6人を満たさなくなった場合は、エントリーの変更(追加)を認める。ただし必ず学校長(合同チームの場合は構成するすべての学校)の承認を得ること。高体連への追加登録が必要な場合はそれらを行い、大会当日までにエントリー変更届と登録完了を証明する書類を大会本部へ持参すること。

5. 不戦勝の取り扱いについて

(1) 前日までに棄権が判明した場合

該当の試合は実施しない。大会本部(地区委員長)から、不戦勝となるチームの責任者に連絡が入る。不戦勝のチームは、次に自チームが実施する試合の設定時間に合わせて受付をすること。試合設定時間の変更は行わない。

該当の試合が第1試合の場合、第2試合のコートオフィシャルは第4試合のチームが担当する。担当するチーム責任者に大会本部(地区委員長)から連絡が入る。10:10 までに受付を完了すること。

該当の試合が第2試合以降の場合、次の試合のコートオフィシャルは不戦勝となる前の試合の敗者チームが担当する。(例)第1試合(実施)→第2試合(不戦勝)→第3試合(第1試合敗者が担当)

(2) 当日に棄権が判明した場合

通常通りのプロトコールを実施する。不戦勝のチームは試合前10分と公式ウォームアップ11分の計21分間の練習を行い、練習終了後にチームキャプテンがスコアシートにサインを行い、不戦勝が成立とする。コンポジションシートを提出し、練習はユニフォームを着て実施すること。

不戦勝が成立後は、次の試合のチームがコートを使用できる。

該当の試合が第1試合の場合、第2試合の補助員は不戦勝のチームが担当する。

該当の試合が第2試合以降の場合、次の試合のコートオフィシャルは不戦勝となる前の試合の敗者チームが担当する。(例)第1試合(実施)→第2試合(不戦勝)→第3試合(第1試合敗者が担当)

(3) 棄権チームが複数となった場合

大会本部が実施方法を協議する。大会本部(地区委員長)から、試合の進行に影響が及ぶチームの責任者に連絡が入る。